

取扱説明書

・ 目 次	3
・ 安全に関する注意事項	4～7
・ ソーラー発電について	8
・ 本体名称	9
・ 操作パネル	10～11
・ 操作方法(交互通行) — GPSモード —	12
— 内部時計モード —	13
・ 操作方法(三差路) — GPSモード —	14
— 内部時計モード —	15
・ 赤色点滅・点灯で使用するには	16
・ 設定時間一覧表	17
・ バッテリー残量の確認方法	18
・ バッテリーボックスと強制充電方法について	19
・ オプション機能について	20
・ 故障かなと思ったら	22
・ ご使用上の注意と主な仕様	23

このたびは弊社製品をご選定いただき誠にありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただくために、かならず本取扱説明書をお読みの上でご使用していただきますようお願いいたします。またお読みになった後は本書をいつでもお手に取れる場所に保管してください。

安全上のご注意

人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して説明しています。



警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の可能性あります。

お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して説明しています。



気をつけていただく内容です。



行なってはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

免責事項について

- お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 保証期間内でも取扱ミスや天災などによる故障の場合は有償修理となります。
- 災害や地震、第三者による行為その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障及び損害が生じた場合の補償はできません。
- 本製品の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、登録内容の変化・消失など)に関して当社は一切の責任を負いかねます。



警告

電源コード・電源プラグの取り扱いについて



異常・故障時は直ちに使用を中止し電源をOFFにする。

- 煙が出たり異常なおいや音がする
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

※すぐに電源をOFFにして使用を中止し修理をご依頼ください。

※お客様による修理は危険ですでおやめください。



ぬれた手で電源の抜き差しをしない。

感電の原因になります。



傷んだ電源線は使用しない、また破損するようなことはしない。

- 傷つける、加工する
- 熱器具に近づける
- ねじる、無理に曲げる、引っ張る、束ねる、重い物を載せる、など

感電やショートによる火災の原因になります。



電源線は確実に接続する。

接続が不完全ですと、火災・感電の原因になります。

本体の取り扱いについて



本機を改造しない。

- 製品本体、バッテリーボックス、ソーラーパネルの分解・改造は行わないでください。火災・感電の原因となります。
- 許可なく分解・改造された製品は修理等に応じられない場合があります。



不安定な場所に置かない。

- 倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。
- 台を使用する場合はぐらつきがない堅固なものをご使用ください。
- 三脚設置面は平らで十分に強度があることをご確認ください。



バッテリーボックス内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れない。

火災・感電の原因になります。



注意

本体の取り扱いについて



湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



強い衝撃を加えない。

けがの原因になることがあります。



本機の上に物を置かない、乗らない。

倒れたり、壊れたり、落下してけがの原因になることがあります。



接続ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。

火災・感電の原因になることがあります。



電源が入った状態で接続ケーブルを抜き差ししない。

火災・感電・故障の原因になることがあります。



大雨、強風等の環境では使用しない。

水が入る恐れがあります



接続ケーブルを壁面に挟んだり足を引っ掛けたりしないように処理を行う。

火災・感電・けがの原因になることがあります。



移動させる前には接続線などを外しておく。

電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。



保管場所を確認する。

- 高温多湿の場所
- 落下する可能性のある不安定な場所
- 急激に温度変化する可能性のある場所
- 振動の激しい場所や埃の多い場所
- 静電気を帯びやすい場所
- 腐食性、可燃性のガスが発生する場所



日常点検及び定期点検を実施する。

本製品の機能を常に正常に保つために日常点検及び定期点検を心がけてください。

！ その他

設置方法について

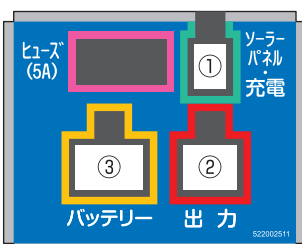


- 設置の際は取付・電源接続等は確実にこなしてください。
- 突風や強風で本体が横転しないよう土嚢等により十分固定してください。事故等の発生原因となる場合があります。

バッテリーボックスについて



- A C 電源からのバッテリーへの充電時には付属品である専用の充電装置をご使用ください。指定以外の方法での充電は火災・爆発の原因となる場合があります。
- 本製品はメンテナンスフリーの密閉型のバッテリーを使用しています。分解してバッテリー液の補充は行わないでください。
- バッテリーを満充電にしてからご使用ください。またご使用後は必ずバッテリーを満充電にしてください。
- 倉庫等で長期間保管される場合は、必ずバッテリーを満充電にし、バッテリーボックス内のコネクタを取り外してから保管してください。過放電となる可能性があります。



※バッテリーボックス内部

- バッテリーボックス内のコネクタは必ず
 - ① ソーラーパネル・充電
 - ② 出力
 - ③ バッテリー
 の順番で取り外してください。
- コネクタを元の場所に挿し込む場合は必ず逆順(③→②→①)で行なってください。
- コネクタの挿抜を順番通りに行わなかった場合は故障や破損のおそれがありますので十分ご注意ください

その他



- 本製品は防滴構造ではありますが高圧洗浄機等での洗浄はおやめください。パネル・本体の破損につながります。
- ソーラーパネルは発電面に影ができないように設置してください。適切に設置されていない場合は十分な発電が得られなくなります。
- ソーラーパネルに汚れ・積雪等が付いた場合はすみやかに取り除いてください。十分な発電が得られなくなります。
- 本書はお手元に大切に保管してください。
- 本書の内容については予告なしに変更する場合があります。
- 本製品の外観及び仕様は製品向上のため予告なく変更することがあります。
- 本製品の保証期間は納入より一年間です。この間に発生した故障で明らかに弊社の責任と判断された場合には無償修理の対象となります。
- 保証期間内でも取扱ミスや天災などによる故障の場合は有償修理となります。

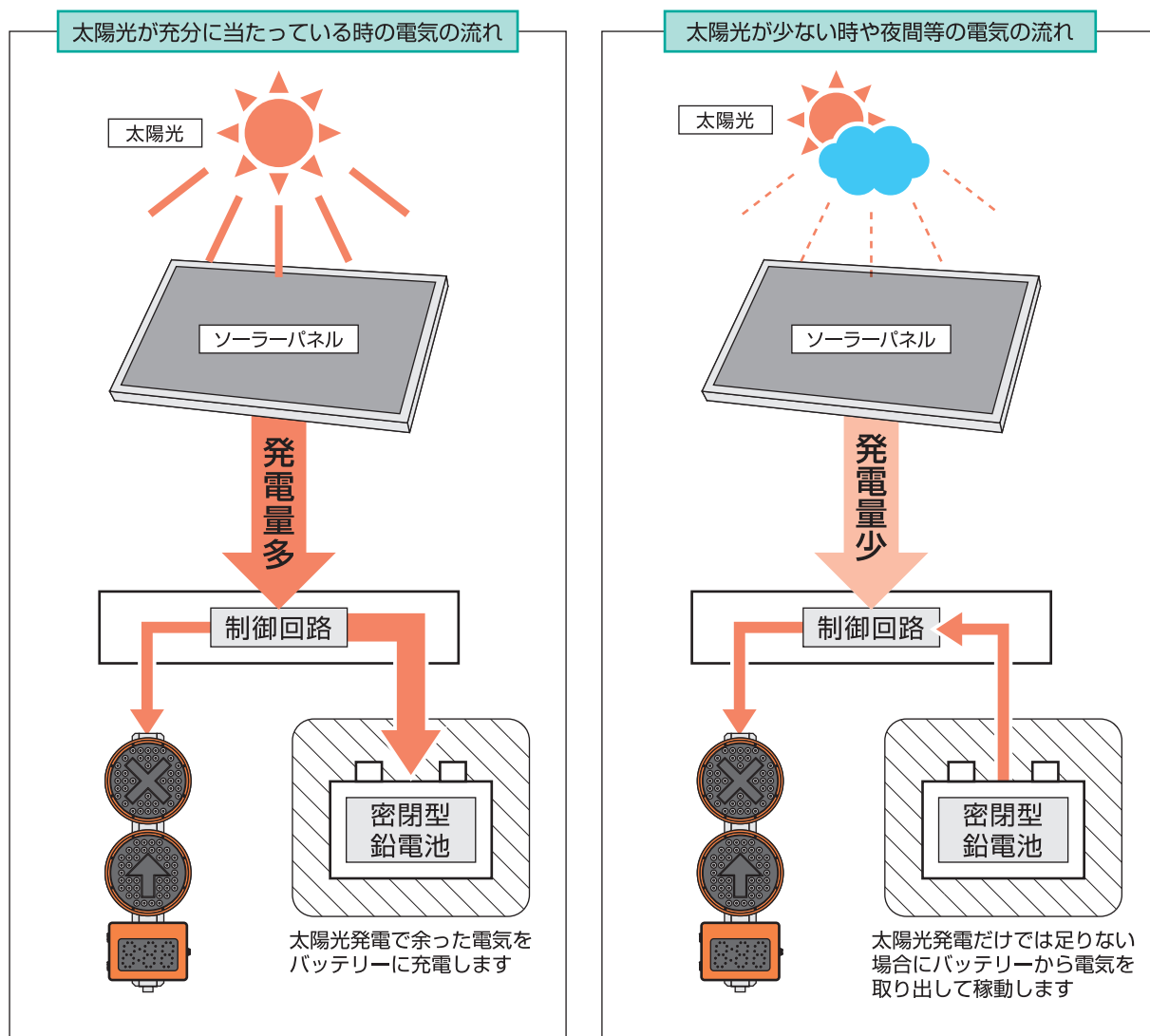
本製品はソーラー電源を採用しており、その方式についてご説明いたします

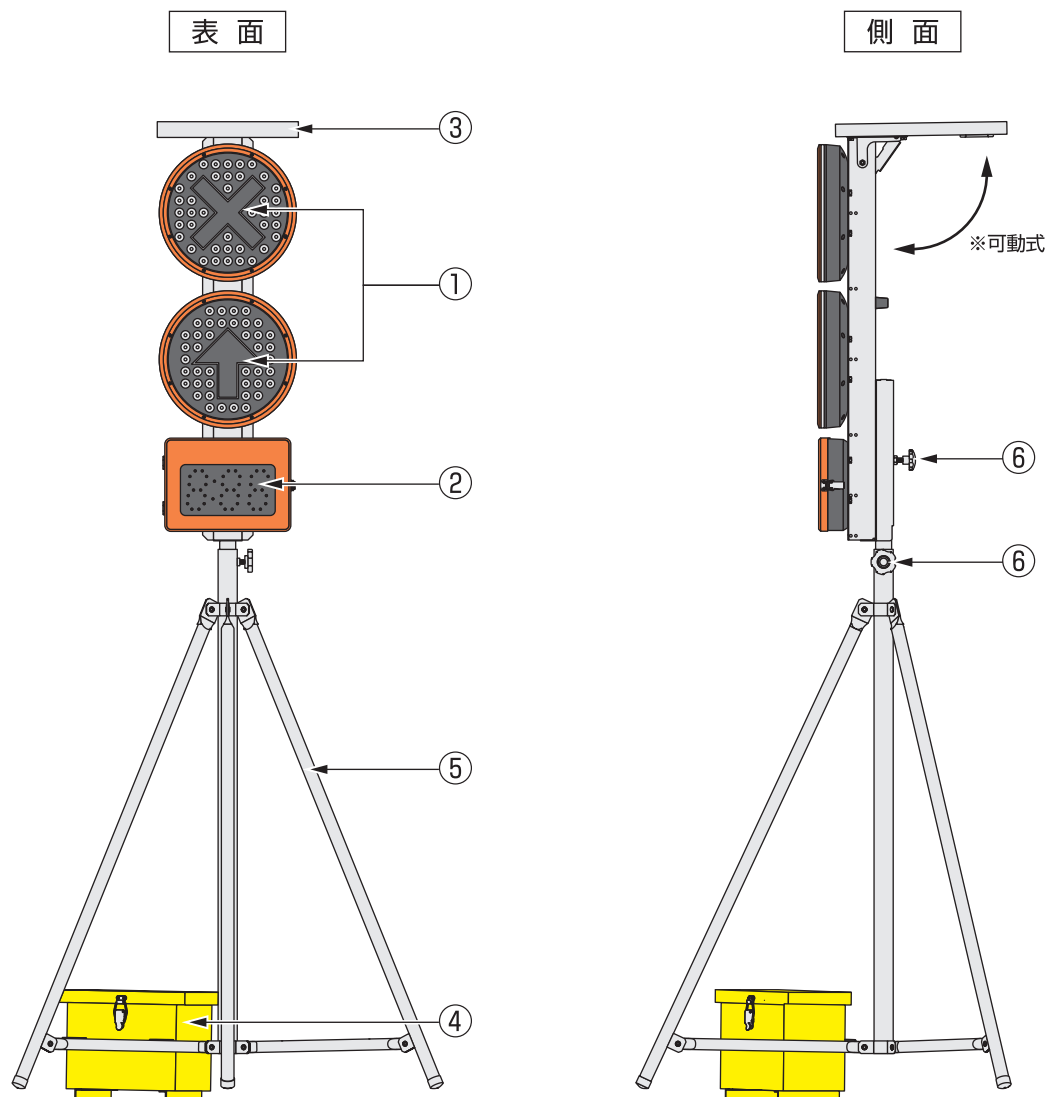
ソーラーパネル(太陽電池)は光を受けることにより発電し電力を発生します。受ける光は太陽光が一番効率が良くまた光が垂直に当たる時に一番効率よく発電しますので、ご使用時にはなるべくソーラーパネルに太陽光が垂直に当たる位置に設置してください。

ただし太陽は昼間移動しますので正午の太陽の方向に設置していただくと一日平均して光を受けることができます。また上空に障害物(樹木や建物等)がある場合は一日のうちで平均的に太陽光が当たる位置に設置してください。

ソーラーパネルに太陽光が十分に当たっている時は使用する電力以上に発電しており、その余剰分は内蔵電池に充電されています。天候が悪く太陽光が当たらない日また夜間等はこの内蔵電池の電力により動作できますので、他電源による充電なしでも連続動作させることが可能です。

ソーラーパネルおよびソーラー発電には以上のような特性がありますので、これらの点をご理解の上で使用いただくようお願いいたします。





① LED灯機

信号灯発光部(赤／青)

② 待ち時間表示パネル／操作ボックス

- (1)待ち時間表示部(数字で待ち時間を表示します)
- (2)ふたをあけた内部に信号機の操作パネルがあります

③ ソーラーパネル

- (1)発電面に影ができないように設置してください
- (2)運搬・移動の際はここを持たないでください
- (3)上下に可動します(2段階)

④ バッテリーボックス

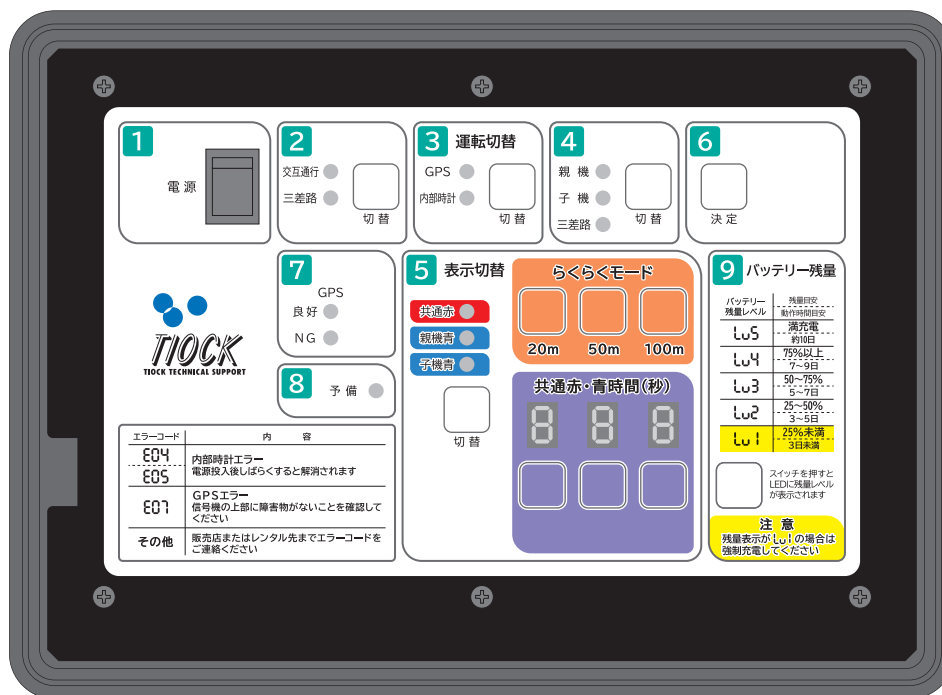
- (1)内部にバッテリーが入っています
- (2)ヒューズの予備(1個)がふたの裏に添付されています

⑤ 三脚

折り畳み可能です

⑥ ノブボルト

信号機と三脚の脱着時に使用します



1 電源スイッチ …電源切替用スイッチ

本体の電源をON⇔OFFします

2 交互通行・三差路設定スイッチ …交互通行または三差路を選択します

使用する信号機に二差路(交互通行)と三差路のどちらかを選択してください

表示ランプの状態	設定状態	
点 灯	設定完了中	
点 滅	切替操作中	決定ボタンを押すとランプが点灯します

3 運転切替スイッチ …GPS、内部時計の切替スイッチです

- (1) GPS ……GPS信号の受信状態が良好な時に使用できます
- (2) 内部時計 … GPS信号の受信状態に関係なく使用できます

表示ランプの状態	設定状態	
点 灯	設定完了中	
点 滅	切替操作中	決定ボタンを押すとランプが点灯します

4 親・子・三差路切替スイッチ …親機・子機・三差路目機を選択をします

使用する信号機に親機・子機・三差路(三差路目機)のいずれかを選択してください

表示ランプの状態	設定状態	
点 灯	設定完了中	
点 滅	切替操作中	決定ボタンを押すとランプが点灯します

5 表示切替スイッチ

- (1)らくらくモードの場合は使用する距離ボタンを押してください
- (2)任意入力の場合は切替スイッチを押して共通赤・親機青・子機青のランプが点灯している状態で各時間を入力してください

設定方法	設定状態
らくらくモード	工事区間(20m・50m・100m)の共通赤時間および親機と子機青時間がスイッチを押すだけで設定できます
任意時間設定	共通赤時間および親機と子機青時間それぞれを秒数で設定します

6 決定スイッチ …設定を決定して動作させるスイッチです

- (1)このスイッチを押すと設定が完了し信号機の動作がスタートします
- (2)各設定条件を選んだ際は必ず押してください

7 受信状態表示ランプ

表示ランプの状態		設定状態
良 好	点 灯	電波受信完了
	点 滅	電波受信動作中
N G	点 灯	電波受信不可

8 予備

※点灯する場合がありますが異常ではありません

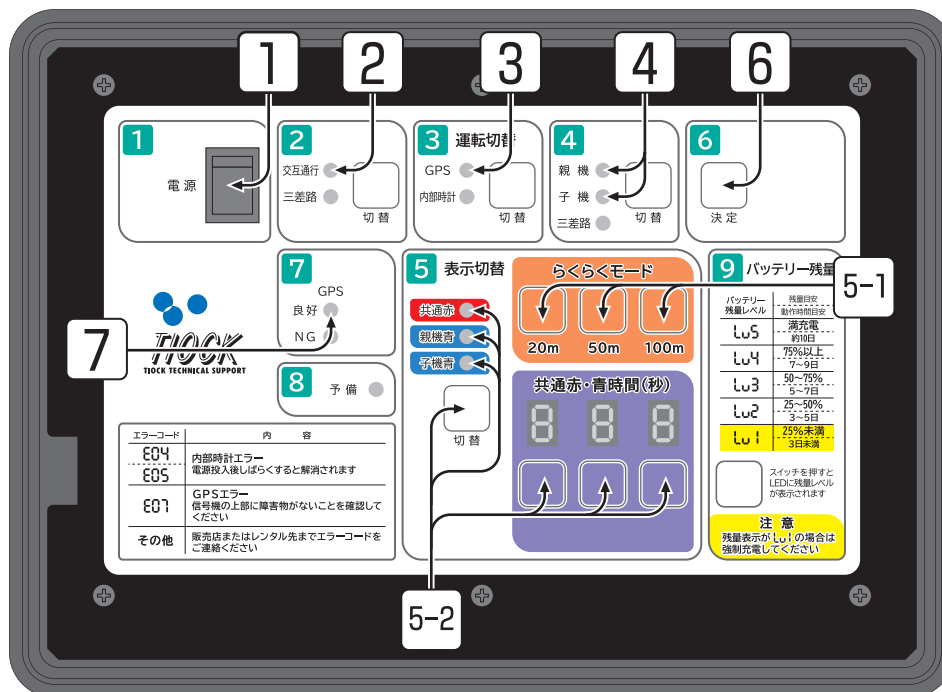
9 バッテリー残量

- ※スイッチを押すとバッテリー残量に応じて1～5のレベルが表示されます
 ※バッテリー残量の目安は操作ラベルの表示を参照してください

操作方法(交互通行) — GPSモード —

GPSモード…信号機が自動で同期します(赤と青が誤差なく正確に切替わります)

1 GPSモードの設定方法



GPSが点灯せず信号機が動作しない場合は内部時計モードにて再設定してください(次P参照)

1 2台の信号機の電源を入れてください

電源スイッチをONにしてください
(表示が安定するのを待って次の操作に移ってください)

2 交互通行を設定します

切替ボタンを押して交互通行を点灯させてください
(交互通行が点灯している場合は③に進んでください)

3 GPSモードを設定します

切替ボタンを押してGPSを点滅させてください
(GPSが点滅している場合は④に進んでください)

4 2台の信号機に親機と子機を設定します

切替ボタンを押して1台目の信号機は親機を点灯、2台目の信号機は子機を点灯させてください

5 共通赤時間と青時間を設定します

5-1 (距離)mボタンを押すと各設定時間が自動表示されます
5-2 (1)切替ボタンを押して共通赤・親機青・子機青のいずれかのランプを点灯させてください
(2)3ヶ所のボタンを押して10~995までの秒数を設定してください

6 決定ボタンを押してください

信号機の決定ボタンを押すと設定が完了し運転を開始します
(決定ボタンは同時に押す必要はありません)

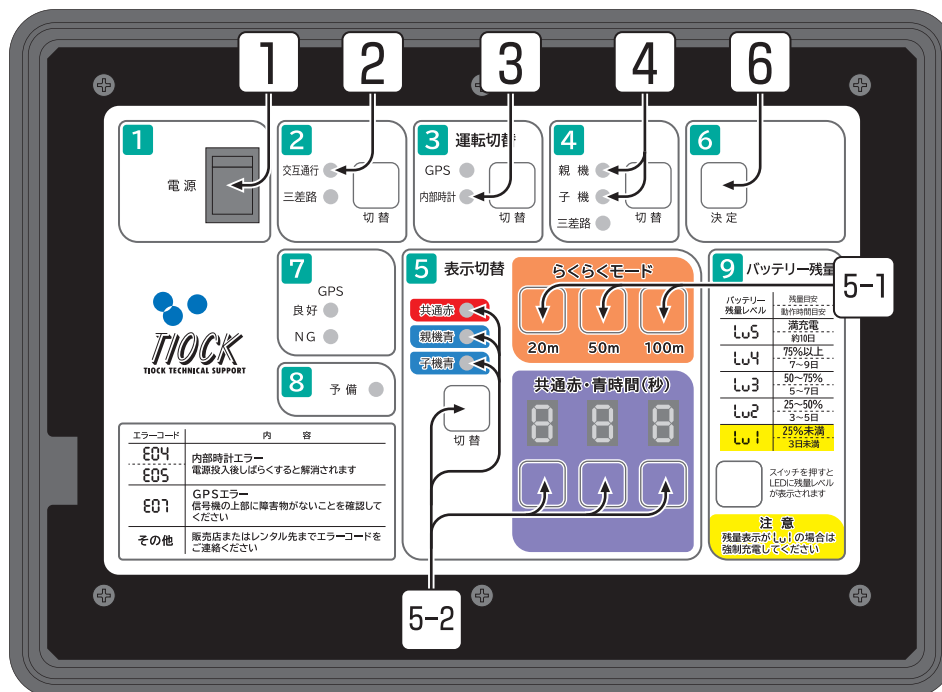
7 ご注意

※GPS信号を捕捉している間はGPSの良好ランプが点滅し赤灯機が点滅状態になりますが故障ではありません。(GPS信号の受信完了後正常動作に移行します)また信号機の動作開始までに時間がかかる(約10分程度)場合があります。
※1日に1回はGPSの良好ランプが点灯してGPS信号を受信し続けているか確認してください。
※GPSモードでの動作中に何らかの理由でGPS信号を受信できなくなった場合はNGが点灯します。その場合はGPS信号を受信できる場所に移動するか内部時計モードにて再設定してください。
※親機・子機共にGPSモードに設定してください。(2機が異なるモードの場合正しく作動しません)

操作方法(交互通行) — 内部時計モード —

内部時計モード…信号を手動で同期します(GPS信号が受信できない場合)

2 内部時計モードの設定方法



1 2台の信号機の電源を入れてください

電源スイッチをONにしてください
(表示が安定するのを待って次の操作に移ってください)

2 交互通行を設定します

切替ボタンを押して交互通行を点灯させてください
(交互通行が点灯している場合は③に進んでください)

3 内部時計モードを設定します

切替ボタンを押して内部時計を点滅させてください
(内部時計が点滅している場合は④に進んでください)

4 2台の信号機に親機と子機を設定します

切替ボタンを押して1台目の信号機は親機を点灯、2台目の信号機は子機を点灯させてください

5 共通赤時間と青時間を設定します

5-1 (距離)mボタンを押すと各設定時間が自動表示されます

5-2 (1)切替ボタンを押して共通赤・親機青・子機青のいずれかのランプを点灯させてください
(2)3ヶ所のボタンを押して10～995までの秒数を設定してください

6 2台同時に決定ボタンを押してください

必ず2台の信号機の決定ボタンを同時に押してください
(決定ボタンを押すと設定が完了し運転を開始します)

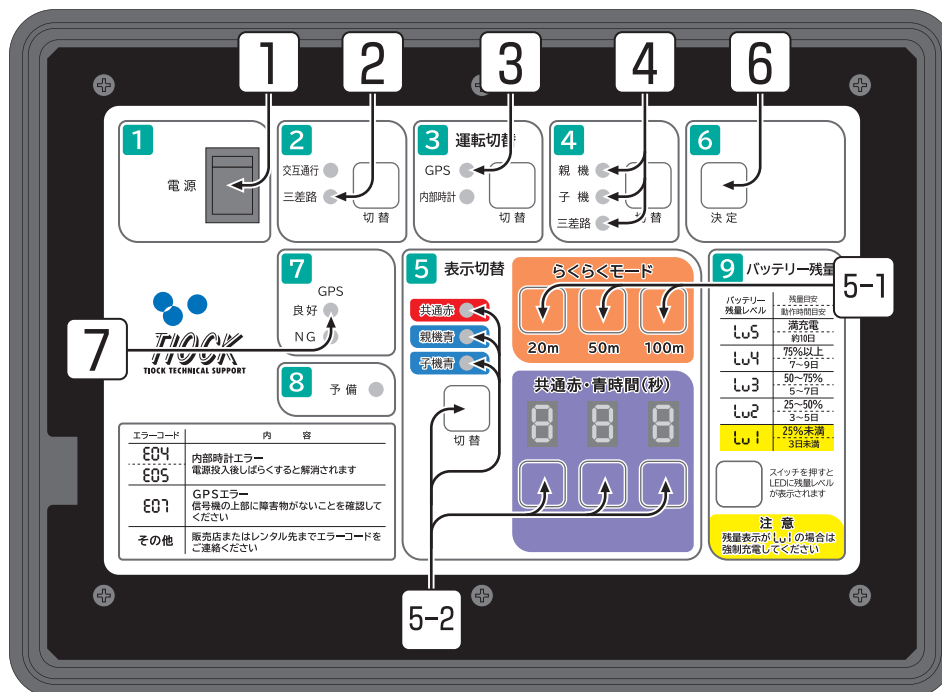
7 ご注意

※設定後は必ず動作確認をしてからご使用ください。また1週間に1度は時間の確認を行なってください。
※時間に誤差が生じた場合には2台とも再設定してください。
※親機・子機共に内部時計モードで設定してください。(2機が異なるモードの場合正しく作動しません)

操作方法(三差路) — GPSモード —

GPSモード…信号機が自動で同期します(赤と青が誤差なく正確に切替わります)

1 GPSモードの設定方法



GPSが点灯せず信号機が動作しない場合は内部時計モードにて再設定してください(次P参照)

1 3台の信号機の電源を入れてください

電源スイッチをONにしてください
(表示が安定するのを待って次の操作に移ってください)

2 三差路を設定します

切替ボタンを押して三差路を点灯させてください
(三差路が点灯している場合は③に進んでください)

3 GPSモードを設定します

切替ボタンを押してGPSを点滅させてください
(GPSが点滅している場合は④に進んでください)

4 3台の信号機を親機・子機・三差路に設定します

切替ボタンを押して1台目の信号機は親機を点灯、2台目の信号機は子機、3台目の信号機は三差路を点灯させてください

5 共通赤時間と青時間を設定します

5-1 (距離)mボタンを押すと各設定時間が自動表示されます
5-2 (1)切替ボタンを押して共通赤・親機青・子機青のいずれかのランプを点灯させてください
(2)3ヶ所のボタンを押して10~995までの秒数を設定してください

6 決定ボタンを押してください

信号機の決定ボタンを押すと設定が完了し運転を開始します
(決定ボタンは同時に押す必要はありません)

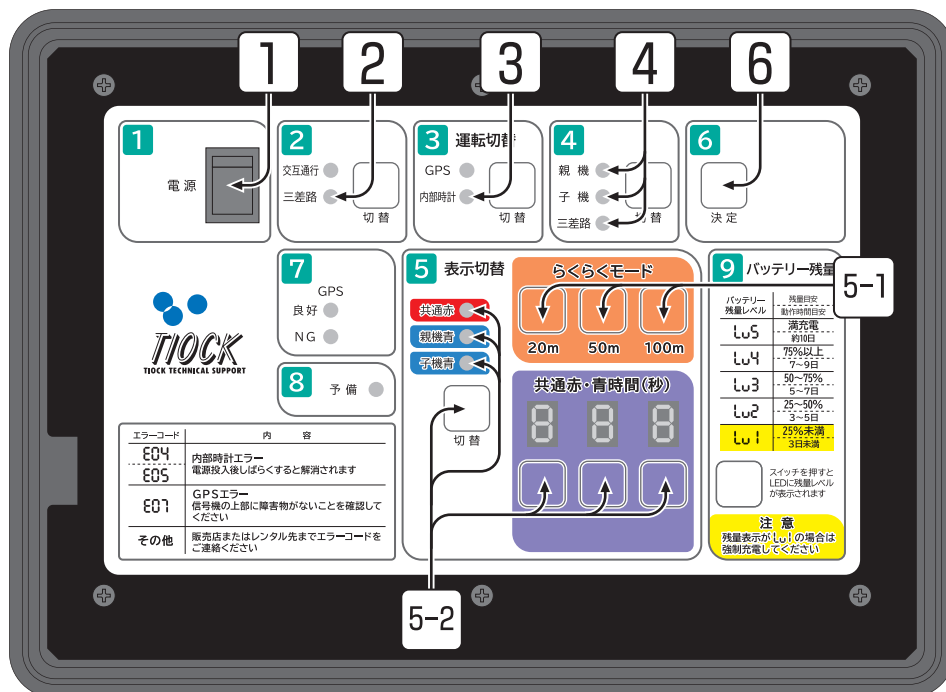
7 ご注意

※GPS信号を捕捉している間はGPSの良好ランプが点滅し赤灯機が点滅状態になりますが故障ではありません。(GPS信号の受信完了後正常動作に移行します)また信号機の動作開始までに時間がかかる(約10分程度)場合があります。
※1日に1回はGPSの良好ランプが点灯してGPS信号を受信し続けているか確認してください。
※GPSモードでの動作中に何らかの理由でGPS信号を受信できなくなった場合はNGが点灯します。その場合はGPS信号を受信できる場所に移動するか内部時計モードにて再設定してください。
※3台の信号機はすべてGPSモードに設定してください。(異なるモードの場合正しく動作しません)

操作方法(三差路) — 内部時計モード —

内部時計モード…信号を手動で同期します(GPS信号が受信できない場合)

2 内部時計モードの設定方法



1 3台の信号機の電源を入れてください

電源スイッチをONにしてください
(表示が安定するのを待って次の操作に移ってください)

2 三差路を設定します

切替ボタンを押して三差路を点灯させてください
(三差路が点灯している場合は③に進んでください)

3 内部時計モードを設定します

切替ボタンを押して内部時計を点滅させてください
(内部時計が点滅している場合は④に進んでください)

4 3台の信号機を親機・子機・三差路に設定します

切替ボタンを押して1台目の信号機は親機を点灯、2台目の信号機は子機、3台目の信号機は三差路を点灯させてください

5 共通赤時間と青時間を設定します

5-1 (距離)mボタンを押すと各設定時間が自動表示されます

5-2 (1)切替ボタンを押して共通赤・親機青・子機青のいずれかのランプを点灯させてください
(2)3ヶ所のボタンを押して10～995までの秒数を設定してください

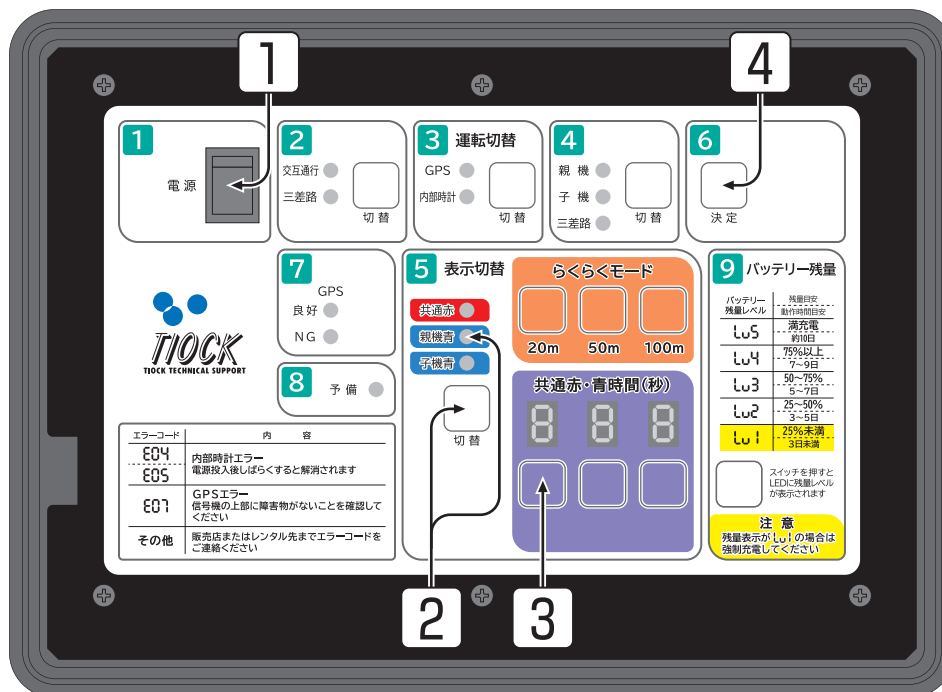
6 決定ボタンを押してください

必ず3台の信号機の決定ボタンを同時に押してください
(決定ボタンを押すと設定が完了し運転を開始します)

7 ご注意

※設定後は必ず動作確認をしてからご使用ください。また1週間に1度は時間の確認を行なってください。
※時間に誤差が生じた場合には3台とも再設定してください。
※3台の信号機はすべて同じ内部時計モードに設定してください。(異なるモードの場合正しく作動しません)
※三差路の青時間は親機と同じ長さになります。(青時間は親機→子機→三差路となります)

赤色点滅・点灯の設定方法



1 信号機の電源を入れてください

電源スイッチをONにしてください
(表示が安定するのを待って次の操作に移ってください)

2 親青時間に切り替えてください

親機青時間のLEDを点灯させてください

3 点滅または点灯を設定します

ボタンを押して **A** (点滅) または **b** (点灯) を表示させてください

4 決定ボタンを押してください

決定ボタンを押すと設定が完了し運転を開始します

ご注意

※設定後は必ず動作確認をしてください。

1 らくらくモード

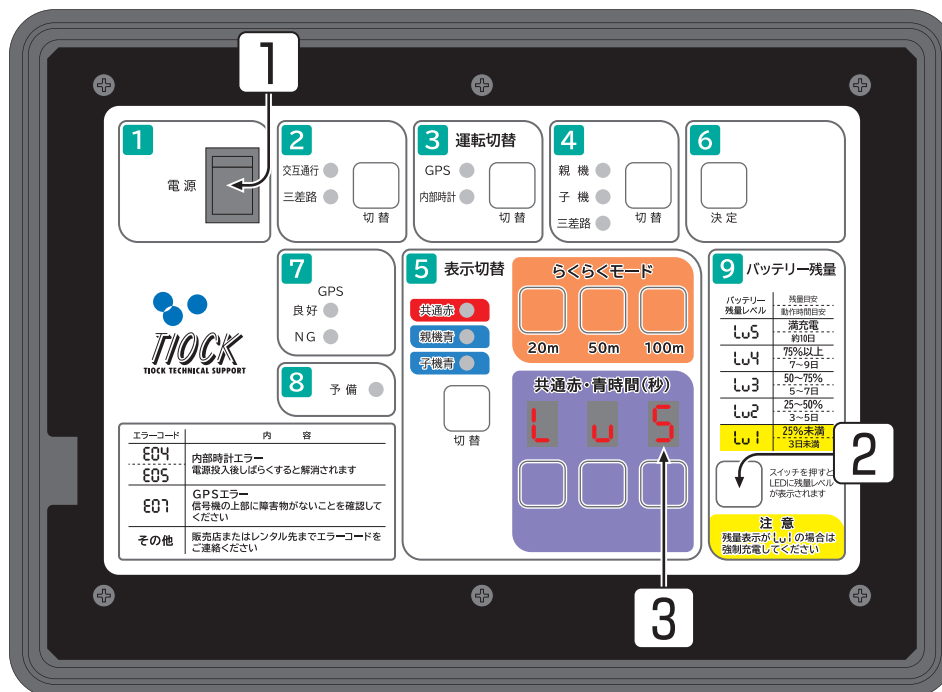
工事区間	親・子機青時間	共通赤時間	待ち時間
20m	10 秒	10 秒	30 秒
50m	20 秒	20 秒	60 秒 (1分00秒)
100m	30 秒	30 秒	90 秒 (1分30秒)

2 設定時間目安表 工事区間・路面状態・交通量・工事内容等を考慮して適切な時間設定を行なってください

工事区間	親・子機青時間	共通赤時間	待ち時間
50m	20 秒	20 秒	60 秒 (1分00秒)
100m	30 秒	30 秒	90 秒 (1分30秒)
200m	40 秒	40 秒	120 秒 (2分00秒)
300m	50 秒	50 秒	150 秒 (2分30秒)
500m	60 秒 (1分00秒)	70 秒 (1分10秒)	200 秒 (3分20秒)
700m	80 秒 (1分20秒)	105 秒 (1分45秒)	290 秒 (4分50秒)
1000m	100 秒 (1分40秒)	150 秒 (2分30秒)	400 秒 (6分40秒)

バッテリー残量の確認方法

1 バッテリーの残量を確認するには



1 信号機の電源を入れてください

電源スイッチをONにしてください
(表示が安定するのを待って次の操作に移ってください)

2 バッテリー残量ボタンを押してください

3 LEDに数字が表示されます

L U 1 ~ 5 バッテリーの残量レベルに応じて
1~5の数字が表示されます

ご注意

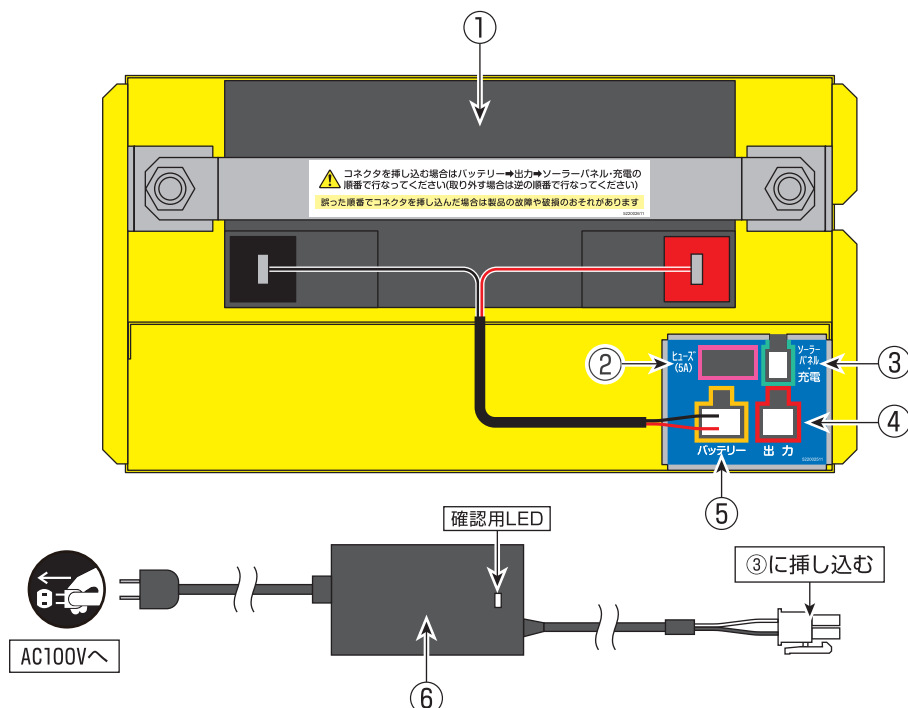
※定期的にバッテリー残量ボタンを押してバッテリーの残量を確認してください。
※バッテリー電圧が低下していた場合は強制充電を行なってください。

2 バッテリー残量表示と残量目安について

残量表示	残量目安	動作時間目安	バッテリー電圧
L5	満充電	約10日	13.0V 以上
L4	75%以上	7~9日	12.5V 以上
L3	50~75%	5~7日	12.0V 以上
L2	25~50%	3~5日	11.5V 以上
L1	25%未満	3日未満	11.0V 以上
L0	—	—	使用不可

バッテリーボックスと強制充電方法について

1 バッテリーボックス内部



① バッテリー

・12V18Ah

② ヒューズ

- (1) 対応アンペア：5A
- (2) 予備(1個)がバッテリーボックスのふたの裏に添付されています

③ ソーラーパネル・充電(コネクタ用)

- (1) ソーラーパネル用ケーブルのコネクタを挿し込んでください
- (2) 強制充電時は⑥充電用アダプターのコネクタを挿し込んでください

④ 出力(コネクタ用)

・信号機用ケーブルのコネクタを挿し込んでください

⑤ バッテリー(コネクタ用)

- (1) バッテリー用ケーブルのコネクタを挿し込んでください
- (2) 長期間使用しない場合は③④⑤すべてのコネクタを取り外し保管してください

⑥ 充電用アダプター

- (1) バッテリーの強制充電時に使用します
- (2) 強制充電時以外はバッテリーボックス内部で保管してください
- (3) 確認用LED…充電中：赤(点灯)
…未接続または満充電時：緑(点灯)

ご注意

※コネクタを取り外す場合は必ず③→④→⑤の順で行なってください。また挿し込む順番は逆の⑤→④→③の順で行なってください。(順番通りに行わなかった場合は故障や破損のおそれがありますのでご注意ください)

2 バッテリーの強制充電方法

- 1 ③ソーラーパネル・充電に挿し込まれているコネクタ(ソーラーパネル用)を抜いてください
- 2 ⑥充電用アダプターのコネクタ部分をソーラーパネル・充電部分に挿し込んでください
- 3 ⑥充電用アダプターの電源プラグをコンセント(AC100V)に挿し込んでください(充電が自動的に開始されます)
- 4 充電終了後はコネクタと⑥充電用アダプターを元の位置に戻してください

ご注意

※内部に雨水などが入るおそれがありますので強制充電中はバッテリーボックスのふたは閉じてください
※③ソーラーパネル・充電以外のコネクタを抜かないでください。(故障や破損のおそれがあります)

オプション機能について

本製品はガードマンリモコン及び外部連動に対応しています

1 ガードマンリモコンについて

信号機を手動で制御することができます。

ガードマンリモコン

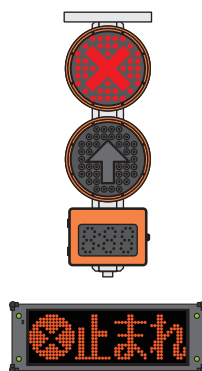


スイッチで赤⇄青を切替え

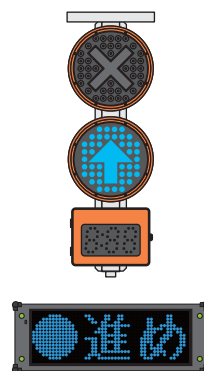
2 連動ケーブルについて

外部機器を信号機と接続して連動表示できます。
例：電光盤と接続した場合

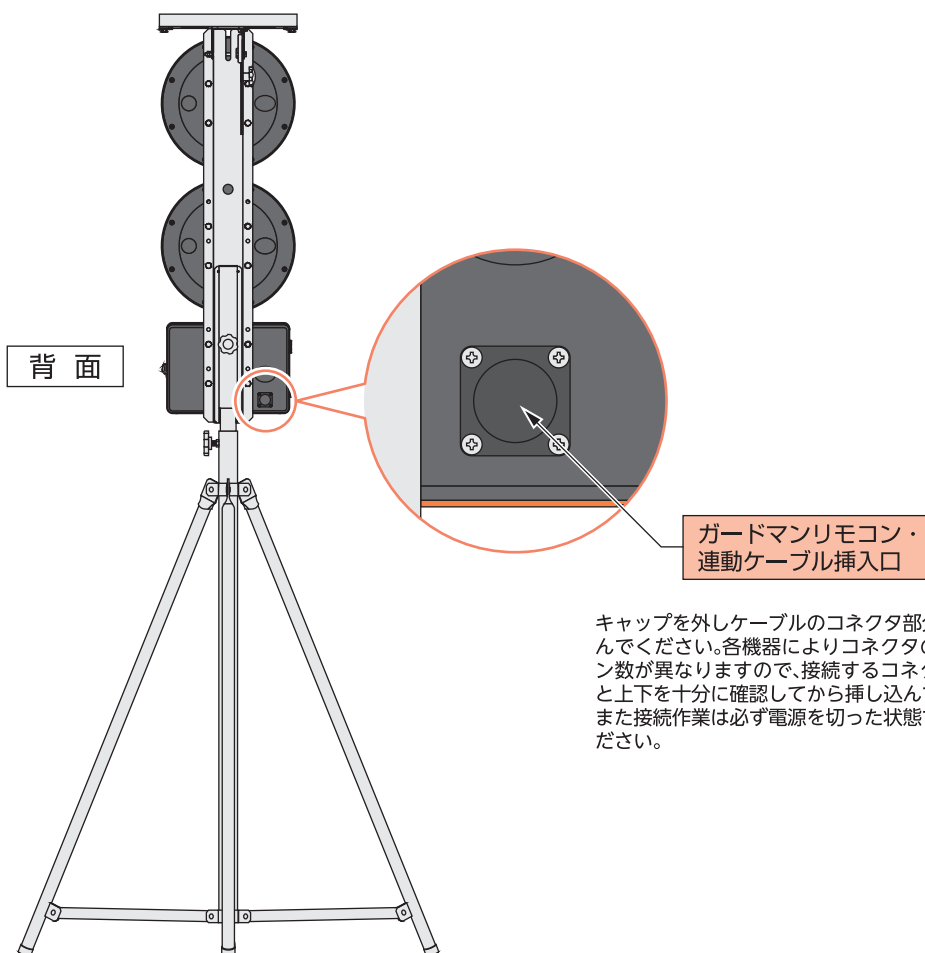
赤点灯時→止まれ



青点灯時→進め



3 ガードマンリモコンおよび連動ケーブルの挿し込み口



1 本体の電源が入らない

- (1) バッテリーの容量は十分にありますか(11.5V以上の残量が必要です)
→ 付属の専用アダプターで強制充電してください
- (2) ケーブルの破損・コネクターの抜けはありませんか
- (3) 水濡れなどにより本体やバッテリーボックスに異常はありませんか
- (4) ヒューズは切れていませんか
→ ヒューズを交換してください(予備(1個)がバッテリーボックスのふたの裏に添付されています)

2 ソーラーパネルの発電が少ない

- (1) ソーラーパネルの配線に傷などはありませんか
- (2) コネクターは確実に挿入されていますか

3 時間が合わない(GPSモード)

- (1) 親機と子機共にGPSモード設定ですか
→ 違っていた場合は親機と子機共にGPSモードに再設定してください
- (2) GPSの電波受信状況は良好ですか
→ GPSの電波が受信できない環境下では内部時計モードで使用してください

4 時間が合わない(内部時計モード)

- (1) 親機と子機共に内部時計モード設定ですか
- (2) 親機と子機の決定ボタンを押すタイミングは同時でしたか
→ 再度設定を確認して親機と子機の決定ボタンを同時に押してください

5 エラーコード一覧

エラーコード	発生要因	対処方法
Ⓔ04およびⒺ05	内部時計エラー	電源投入後しばらくすると解消されます
Ⓔ07	GPSエラー	信号機の上部に障害物がないことを確認してください
その他	—	販売店またはレンタル先までエラーコードをご連絡ください

6 その他

- (1) お手数ですが弊社サポート部または担当営業者までお問合せください

1 ご使用上の注意

- (1) 本書はお手元に大切に保管してください。
- (2) 本書の内容については予告なしに変更する場合があります。
- (3) 本製品の外観及び仕様は製品向上のため予告なく変更することがあります。
- (4) 本製品の保証期間は納入より一年間です。
※この間に発生した故障で明らかに弊社の責任と判断された場合には無償修理の対象となります。
ただし保証期間内でも取扱ミスや天災などによる故障の場合は有償修理となります。

2 主な仕様

品名・型式	DANNGO型 ソーラー式 工事用信号機／S02502型
寸 法	幅約850mm×高さ約1920mm×厚さ約770mm(三脚設置時)
重 量	約8kg(三脚含まず)
ソーラーパネル	DC12V12W
バッテリー	DC12V18Ah
消費電力量	約1W
無日照動作時間	約10日間(※満充電時)
充電回路	AC100Vにて強制充電機能付
操作方法	操作パネルによる自動運転

保 証 書

本製品の保証期間は、**お買い上げ日から1年間**となります

〈無償修理規定〉

1. 取扱説明書・本体添付ラベル等の注意事項に従った正常な使用状態で保証期間内に発生した故障において、原因が明らかに弊社の責任と判断された場合は無償修理いたします。
2. 保証期間内でも下記の内容に該当する場合は有償修理となります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造、適切な維持管理を行わなかったことによる故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の転倒・取付け場所の移動・輸送・落下等による故障・損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、ガス害、塩害、落雷、その他の天災地変、テロ、暴動、公害や異常電圧、その他の外部要因による故障及び損傷。
 - (ニ) 犯罪などの不法な行為に起因する故障及び損傷。

製造元 株式会社 ティオック
本社／長野県長野市青木島町青木島乙 850-1
TEL 026-283-5970